

会議録（１）

会議の名称	令和7年度 第3回飯能市行政改革審議会
開催日時	令和8年3月27日（金） 開会 午前10時00分 閉会 午前10時45分
開催場所	飯能市役所本庁舎別館2階 会議室1
会長氏名	大森 一宏
出席委員	大森 一宏 木崎 幸長 倉島 安司 清原 一平 佐武 泰史 三浦 大典 近藤 一幸 大木 伸昭 石田 賢一
欠席委員	吉野 信明
説明者の職氏名	企画総務部 部長 金子 智彦 企画総務部 参事兼企画課長 奥 孝明 企画課 副参事 山岸 豊 企画課 主任 大野 直哉
傍聴者の数	0人
会議次第	別紙資料のとおり
配布資料	別紙資料のとおり
事務局職員職氏名	企画総務部 参事兼企画課長 奥 孝明 企画課 副参事 山岸 豊 企画課 主査 齋藤 晃太 企画課 主任 林 優児 企画課 主任 大野 直哉 企画課 主事 松尾 晃汰

会議録（3）

発 言 者	発 言 内 容
参事	<p>それでは、皆さんお揃いですので、始めさせていただきます。</p> <p>はじめに、本日、吉野委員が所用により欠席との連絡を受けておりますので報告させていただきます。</p> <p>申し遅れましたが、本日の司会を務めさせていただきます企画課の奥と申します。よろしくお願いいいたします。</p> <p>それでは、開会に先立ちまして、大森会長よりごあいさつを頂戴します。</p>
会長	（あいさつ）
参事	<p>それでは、飯能市行政改革審議会条例第6条の規定により、大森会長に進行をお願いいたします。</p>
会長	<p>議事に入る前に、本審議会は情報公開制度に基づき、公開を原則としていますが、本日、傍聴者はありません。</p>
会長	<p>それでは、議事に入ります。議事の「（1）第8次飯能市行政改革大綱について（答申）」を議題といたします。</p> <p>事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	（説明）
会長	<p>ただ今の説明について、ご質問やご意見はございますか。</p>
委員	<p>パブリックコメントへの意見が94件というのはとても多いと思います。そのうちの7割以上が、緊急財政対策に盛り込まれた事業見直しに関する意見で、特にこども図書館に関するものだったように見受けます。</p> <p>3月25日の議会を傍聴しました。委員会での議論の中でも、特に一般会計予算、この緊急財政対策プランそのものが机の上で考えられて出来上がっていて、そのほとんどがいきみみたいな形で、その説明会を重ねら</p>

	<p>れてるということに対して、請願も含めてですけれども、こういう問題は事前に市民参加のある形で案がまとめられていくという過程が非常に重要だという、意見、指摘がメインじゃなかったかと思います。</p> <p>もう一つ、私は男女共同参画の審議会にも出ていますが、飯能市の場合、審議会のメンバーの女性比率が、埼玉県内を見てもワースト3に入るぐらいに非常に低いと思います。現に今日ここにお集まりいただいている方の中にも残念ながら1人もいません。やはり市民の声を聞く中に、もっと女性の意見を汲み上げることも必要ではないかと思います。この答申案を読ませていただきますと、さっきご説明にあったように、市民の声をどうやって拾っていくかということにフォーカスしなくてはいけないとありましたが、そこは本当に難しい問題だとは思いますが、やっぱり大きな力をそこに入れていくべきかなという印象を持っております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。 事務局から何かございますか。</p>
部長	<p>貴重なご意見ありがとうございました。 委員がおっしゃるとおりでございます。今後、市民の声をどのように聞いてくか課題がございます。これまで総合振興計画の策定に当たりましても、特に若い方にも広く意見を聞いてきた経緯もございますので、同じようにこれからの計画作りや事務事業見直しにあたりましても、市民の声をしっかりと聞いてまいりたいと思います。また、女性のみならず、若い方にも参画いただけるような、そういったことも配慮して進めていきたいと思っております。</p>
会長	<p>女性や若者の意見も広く聞いていただければと思います。 他にございますか。</p> <p>(なし)</p> <p>他にご意見ご質問がないようでしたら、前回いただきました市長からの諮問に対しまして、前回の審議会で皆様からいただいたご意見等を踏まえ、答申書を作成させていただきました。</p> <p>(会長が答申書の読み上げ)</p>

	<p>これにつきまして事務局から何かございますでしょうか。</p> <p>(なし)</p>
事務局	<p>答申内容に本日いただいたご意見等を踏まえ、最終的に反映させるとともに、行政改革大綱に基づき、令和 8 年度からの 5 年間計画の実行に向けてしっかりと取り組んでまいります。</p> <p>ありがとうございました。</p>
会長	<p>よろしく願いいたします。</p> <p>それでは次に、議事の「(2) 飯能市行政改革・財政健全化実施計画(案)」についてを議題といたします。事務局からご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(説明)</p>
会長	<p>ただ今の説明について、ご意見ご質問等ございますでしょうか。</p>
委員	<p>計画策定大変お疲れ様でした。拝見させていただきました。</p> <p>3 点だけコメント申し上げます。大前提として、人の減少はもうしょうがないことだよと受け止めている話と、削る話だけではなく、歳入をどうするかというところを書いていただいたのは、初回に指摘申し上げましたが、非常にいいなと思っています。その上で 3 点コメントさせていただきます。</p> <p>歳入の部分ですが、当然こういう計画なので書かれると思いますが、本気でどうしていくのかということは考えなくてははいけません。大変失礼な言い方かもしれませんが、行政の方は、地域振興でお金を回すとか得意ではないと思います。それはビジネスとかそういう世界に生きていないからであって、むしろ、ここは地域の企業とか、商工会議所の方の力をぜひ使っていただかないと駄目だと思っています。飯能市から羽ばたいているビール屋さんがいらっしゃいますが、他にもそういった方はいると思うので、そういった方と連携して、地域の方と一緒に地域経済を盛り上げて欲しいなと思います。</p> <p>2 点目に、DX についてです。これは、切り捨てる勇気だと思っています。行政の IT 化のコンサルを始め 30 年経ちますが、この議論はずっと昔からあります。どうしても紙とかあるいはデジタルを使えない人をど</p>

	<p>うするのかという議論は必ず出てきます。もちろん公共なので大事なことです。でも、それがあから全体効率化を下げてしまうというのはもう止めた方がいいと思っています。なので、ぜひDXを切り札にするのであれば、多少痛い目を見ても進める必要があるのではないかと思います。</p> <p>最後に、3点目ですが、職員の皆さんのことです。本当に飯能市だけではなく、私の知っている自治体の数多くで職員の働き方は甚だしいです。民間企業でも、社員のエンゲージメントやメンタルヘルスを気に掛けるよう言われています。恐らく、行政職員のストレスチェック等は行われていない印象です。民間企業では、会社への忠誠心みたいなことが評価基準だったりしますので、ぜひ民間企業のそんなところも、取り入れつつ、とにかく若い職員の方が前を向き、飯能市のために働けるような職場にしてほしいなと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今のご意見につきまして、事務局から何かございますでしょうか。</p>
<p>参事</p>	<p>歳入の関係で位置づけはさせていただきましたが、なかなか厳しい状況です。確かに、営業をしているわけではなく、そういった面では歳入を確保していく獲得していくというのがなかなか厳しい状況であります。その中で一つは、ふるさと納税といったところで、一時期3億を越えるような収入があったものが、今、約1億5000万円と半分ぐらいまで減ってきていることは、来年度から積極的に獲得していく策を今練っているところがございます。少しでも増やせるようにといったところをやらせていただきます。有料広告の関係については、ここでホームページであるとか、広報誌でバナー広告等をやっていますが中々埋まらない状況というのと、それは一元的に管理、募集ができてなかったといったようなご指摘を、市議会議員の一般質問でもいただいております。そこについては改めて早い段階で更新を掛けて、確保できるような形を作っていくと思います。自主財源確保という言葉はありながらも取り組めてこなかった面がすごく大きいので、いろいろなところで、またご意見をいただきながら進められたらいいなと思いますし、企業の方々にもご協力いただいた上で進めるといったところで検討していきたいと思っています。</p>
<p>部長</p>	<p>職員に関するご意見ありがとうございます。本市でもストレスチェックは実施しております。メンタルヘルス相談につきましても、職場の者、また人事の担当にもわからないように、自分で問い合わせをして、相談で</p>

	<p>きるような、そういう仕組みをつくっております。とはいっても、なかなか行きづらいという声もありましたので、今は、入庁した若い職員には、一度は何もなくても行ってくださいと、何かあったときには声を出せる、そういったところをつくっております。ここ数年は、女性職員のメンタル不調がかなり見受けられていました。今は復帰を果たしてまいりまして、次年度、4月1日スタート時点では、メンタル不調で休職となっているのは1人だけになります。これまでの取り組みが功を奏してきたのかなというふうに感じております。ただ今後、DXの方はもちろん推進してまいりますけれども、様々な取り組みの中で職員への負荷はかかってくるのかなと思いますので、日々職員同士しっかりと対話をしながら、組織としても、職員を守るということも含めて、取り組んでまいりたいと思っております。貴重なご意見ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。 他にございますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>行政の持続性という面では、DXを取り入れないと将来的に不可欠なものだと思いますけれども、ただDX化と一言で言ってもかなり投資が必要だと思います。飯能市の今の状況を見ると非常に財政が厳しい。その辺の予算の割り振りはどのぐらい優先してDX化に予算を持ってくるのか、どのように考えているのかお伺いします。</p>
<p>参事</p>	<p>今、緊急財政対策といった中で、かなりネガティブな発信になってしまったようなところもありまして、いろんな面が縮小傾向だけという形で捉えられていると思います。そういった中でも必要な費用として、いわゆる福祉関係であるとか教育というところは、令和7年度よりも増額で予算の作成をさせていただきました。そう言いながらもイベント等の中止といったものが大きく出てきていると思います。委員からいただいた内部事情的な部分も含めてといったところはなかなかお金がつきにくいところではあるんですが、これは国策として進められているICT関係で言えばいわゆる標準化、といったような形で国で共通したシステムを導入していくといったところについては、国の方からの補助金をいただきながら、進めさせていただいております。それ以外で、DX、ICTの活用といったような部分では、いろんな補助金等もありますので、そういった財源も含めて取り入れていくといったところと、先ほどお話があったように、切り捨てていく方針をしっかりと出してから議論を進めて行く予</p>

	定です。
委員	私の考え方としては、やはり将来的な持続性を考えると、かなり無理してでも、進めていただいた方が将来的にはいいのかなってというのは私の意見です。
参事	ありがとうございます。この辺については、実はICTの利活用といった部分での起債で、いわゆる借金をしてでも導入していいよというような形で国の方でも動きがありますので、バランスを考えながら、行くべきところは行っていきたいと思います。
会長	ありがとうございました。 他にございますでしょうか。
委員	ちょっと今日の話からずれてしまうかもしれませんが、先ほど委員から職員のメンタルヘルスの話が出たので、周辺のいくつかの市町村でも、様々な委員をやっておりますが、先ほどもちょっとお話したように周辺の市町村でも職員の疲弊が非常に進んでおり、その原因の一つに、カスタマーハラスメント的な市民の方がいて、その対応で各部署の本来自分の仕事をすべき時間を取られた上で、特に若い職員を中心に非常に精神的にも、追い込まれてしまうみたいなどころがあります。今後、飯能市がどちらかといえば方向としては、全体に縮小していく方向になっていくとますます市民の皆さんとしては、文句をつけたいという方が増えていくであろうと思います。意見を適正に聞くのは非常に重要で先ほどもいろいろ話が出てきましたが、そのカスタマーハラスメント的な方に対して今まで、市町村レベルだと、一般の企業等と違って、どうしても市民の方が来ると対応せざるを得ないというところがありましたが、少しく厳しく、それに対応する対策を今後しっかり考えていくことが、ますます重要になるのではないかと思います。従来の手法のあり方だと、こうも言っているのみたいなどころまでちょっと踏み込んでやらないと、本当に職員を守れないんじゃないかとずっと考えていて、方法に関してもぜひ検討を進めていただければと考えてます。ちょっと感想的なことで申し訳ありません。
会長	ありがとうございます。 他にございますでしょうか。

<p>部長</p>	<p>実際に状況を見てますと、カスタマーハラスメントに当たらないように、そのギリギリのところでの言動が見受けられます。ハラスメントと認定している訳ではありませんが、例えば、手法とすると一日おきに情報公開請求をして、それを繰り返し、そこを材料に、職員が数時間対応せざるを得ない。そういったことがありますので、ときには、弁護士と相談しながらというふうに進めておりますけれど、これは今担当窓口でも、懸案事項になっています。やはり職員を守らなくてはいけない、一方で、例えば開示請求という方法でやってきますと、これは権利でもありますので、そこの線引きは非常に難しいところがあります。請求だけして開示文書を受け取らないなんていう、そういうことを繰り返せばこれだけでちょっと一線を越えてるよねって話になりますけど、そういったところも整理しながら、弁護士へ法律相談などもしながら、職員が1人で背負い込むことは決してないよう、組織で対応しています。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。 他にございますでしょうか。</p>
<p>副会長</p>	<p>委員から商工会議所という話も出ましたので、市長と何回か懇談をさせていただいたり、先日はうちの議員、役員に対して説明会を開いていただきました。そのときにも歳出歳入をより可視化して、それを進めていくんだというお話を伺ったと思います。その中で、その後正副会頭なりの懇談の中で、やはり飯能市のこういう状況の中で、商工団体としてもより懇談を持たせていただいて、いろんな各広告を設けさせていただけたらという意見がすごく出てまして、例えば歳出歳入の入りの部分っていうのはなかなかそれを生み出すっていうのは非常に難しい部分もあると思います。その辺を今は時間もかかるかもしれませんが、その辺を議題にしたいとか、バランスをとりながらその辺も一緒に、ご協力させていただけたらと、会頭も常日頃言ってるものですから、そういう機会を設けさせていただけたらと思います。それと、やはり皆さんから出ているDXの部分も、どんなことであっても舵を切っていかななくてはいけない部分であると思いますのでこれはぜひ進めていただきたいです。</p>
<p>部長</p>	<p>本当に商工会議所の皆様には今の現状を、ご理解いただきまして貴重なご提言をいただいております。今後も引き続き、意見交換をさせていただきながら、進めていければと思っております。それからDXのところ</p>

	<p>すが、新年度から、第3次飯能市地域情報化推進計画がスタートします。その計画の中でもデジタル人材の育成ということで、そしてこれは新たにシステムを使えるだけではなく、そのシステムを使うことによって今後も市の業務や、市民の幸せのために、そのDXをどういうふうに使っていくか、そういう視点でも取り組む、そういう思考を持った職員を育てていきたいと思いますということになっております。ですのでDXを含めて、進めていきたいと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。 他にございますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>一番難しいその入を量る。出を制すことは得意でしょうけども、入を量るところが、6ページを読んでも、本当にこれで増えるのかなと思わざるを得ません。一方、資料の財政の全体額は、今後2年ぐらい補助金なども活用しながら増やそうという中で、多分経常収支比率94%というふうにすれば、支出全体が減るわけではないと思うんですけども、用途がもう非常に見えているわかっていることなので、本当のいわゆる日常の市民生活に影響するところが本当にこの入を量るので、間に合っているのかなと不安に感じました。その寄与率はわからないけれども、いろんなファンディングを活用するか、企業からの寄付をもっとうまく活用するか、場合によってはふるさと納税のふるさとの我々市民からもっと寄付を募るみたいなこともあってもいいのかなと、ちょっと全体の数値から見るとわずかかもしれないけど、そういうことを含めて、この入を量るっていうところの具体策をもう少し肉付けしてほしいなと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。 ただ今のご意見につきまして、事務局から何かございますでしょうか。</p>
<p>参事</p>	<p>ご意見ありがとうございます。なかなか今の時点で、具体策が挙げられてないといったところで、本当に大丈夫かなとご懸念をされているのかなというふうに思います。私どもとしても、ちょっと大丈夫かなといったところは若干あるところもあります。ただ、いろんな自治体で成功事例を持ってやっている部分もありますのでそういったところを遅ればせながらしっかり研究をさせていただいて、飯能市に合う形を模索していきたいというふうに考えております。先ほど企業の方からもぜひご寄付をと</p>

	<p>いう部分では、企業版ふるさと納税等もあります。こういったところは、しっかりと市に貢献していただくとともに、市はこういうことをやるからぜひ寄付してほしいといったような形でクラウドファンディング的な考え方も入れながら、寄付を募って行きたいと考えております。ここで図書館において、図書の購入資金として初めて今年度クラウドファンディングをやらせていただいた事例もありますので、そういったところの裾野を広げていくような形で、ぜひ取り組んでいきたいと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>目的税的じゃないけども、これをやるために賛同、支援をとという形が、やっぱりこれからは必要かなと思います。成功するいろんな都市なんかの成功例を見ると、やっぱり非常に市民から見ると総括された施策っていうんですかね、そういうものがある年度をかけて、ちゃんとやられているという印象を、字面ですけども思っていますので、その場地的に行っているも、やっぱりうまくいかないのかなという気がいたしますので今おっしゃったように、目的を明確にして、何か推進するという事は非常にいいことだと思いますので、ぜひお願いします。</p>
<p>部長</p>	<p>この行政改革大綱の資料の25ページにこれまでの行政改革の成果を挙げさせていただいています。この中で、企業誘致の展開・操業というのがございます。令和6年度だけを見ましても、企業誘致の効果が10億8000万円以上ございます。やはり企業に来ていただくというのは、すぐには効果が現れないかもしれませんが、長い目で見たときに、本当に企業に来ていただくということは大きなところであります。今、企業誘致に関しては市長も本気になっています。なかなか精明東部地区等難しいところもありますけども、これにつきましては、埼玉県また商工会議所の皆さんにも、ご助言いただきながら進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。 他にございますでしょうか。 それでは、ご質問がないようですので、議事の(3)その他についてを議題といたします。事務局の方からご説明をお願いいたします。</p>
<p>副参事</p>	<p>委員の皆様、本日は年度末のご多忙な折、熱心なご審議を賜り誠にありがとうございました。令和8年度は、いよいよ「第8次行政改革大綱」に基づく改革が本格始動する重要な年となります。これまでの緊急財政</p>

	<p>対策におきましては、スピードを優先せざるを得ない側面もあり、市民の皆様や各方面から「進め方が一方的ではないか」「説明が不足している」といった厳しいご意見を真摯に受け止めております。第8次の大綱では、これまでの反省を糧とし、目指すべき将来像を共有するための「丁寧な説明」と「双方向の対話」を何よりも大切にまいります。事務局一同、新たな決意で行政改革に邁進してまいります。委員の皆様には、今後とも大所高所からのご指導、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>事務局からは以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。今後の行政改革の取り組み、期待しております。</p> <p>それでは、議事について全て終了いたしましたので、議長の座を退かせていただきます。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>
<p>参事</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>最後に、金子企画総務部長よりごあいさつ申し上げます。</p>
<p>部長</p>	<p>委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご出席賜りましてありがとうございます。毎回、皆様から大変貴重なご意見、ご提言をいただきました。また、本日、答申を頂戴いたしました。こちらに掲げられている内容をしっかりと受け止めさせていただき、前を向いて進んでまいりたいと思っております。そしてこの4月から、新年度の行政機構の改正を行います。現在12部54課室ですが、新年度からは10部54課室ということです。今私ども企画総務部でございますが、新年度からスタートいたします総合振興計画の推進、それから持続可能な行財政運営を両輪で実現していくという目的のもと、企画総務を分割し、財務部と統合させまして総合政策部となります。そして企画総務部から離れた総務部の方は先ほど来いろいろご意見をいただいた、職員の人材育成を含めてしっかりと進めさせていただきますので、皆様からいただいたご意見を反映させた形での新しい組織体制を整備していきます。引き続き、いろいろなご意見を頂戴できればと思います。本当にこの1年、ありがとうございました。</p>
<p>参事</p>	<p>本日は、様々な貴重なご意見、ご提言を賜り、誠にありがとうございました。</p>

以上をもちまして、令和7年度第3回飯能市行政改革審議会を閉会とさせていただきます。

<閉会>

議事の内容・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。

令和 年 月 日

会長の署名 _____